発達障害の理解と支援を通して、一人ひとりが安心して暮らせる社会を目指す



人文学部こども発達学科 教授
金井 智恵子
KANAI CHIEKO

■専門領域：発達障害・臨床発達心理学・精神保健学・臨床心理学
■キーワード：●自閉スペクトラム症(ASD)・注意欠如多動症(ADHD) ・女性の発達障害・インクルーシブ保育・心理アセスメント
■研究者情報：https://researchmap.jp/chieko-kanai

研究活動紹介

発達障害の認知特性と発達支援

ASD・ADHDの認知特性、社会性、友人関係、いじめ体験などについて研究しています。
知能検査、心理尺度、自律神経指標などを用いて、発達特性の理解と支援方法の開発を目指しています。

【研究結果の一例:幼少期の遊び経験の特徴】
（Kanai & Yamashita, 2026）

- 競争する遊び → 男子に多い（57.9%）
- ごっこ・創作遊び → 女子に多い（60.9%）
- 一人遊び・外遊び → 男女差はほとんどみられない

▲幼少期の遊び経験と発達特性や対人関係との関連について研究を進めています。

インクルーシブ保育と保護者支援

保育現場における発達が気になるこどもへの支援や保護者支援について研究しています。
地域の保育施設と連携し、インクルーシブな保育環境づくりに取り組んでいます。また、本学のインクルーシブ保育「みつばちクラブ」では、学生が主体的に活動へ参加し、実践的な専門性を身に付けています。

【本学インクルーシブ保育「みつばちクラブ」の活動の様子】





実学へのつながり・産業界へのメッセージなど

発達障害に関する研究成果を、保育・教育・医療の現場へ還元することを重視しています。保育施設への巡回相談、教職員研修、保護者支援、講演活動、医療現場における心理支援などを通して、一人ひとりの特性に応じた支援の充実に取り組んでいます。

論文・学会発表など（代表）

・Kanai, C., & Yamashita, M. (2026). Gender differences in childhood play: Quantitative and text-mining analyses of early play experiences and their associations with ASD-related traits. *Research in Autism, 132*, Article 202839.
・Kanai, C., Toth, G., & Itahashi, T. (2026). Cognition in autism spectrum disorder. In J. L. Matson (Ed.), *Cognitive development and decline in autism spectrum disorders* (pp. 29–82). Springer.
・Kanai, C., Toth, G., & Doi, H. (2026). Intelligence. In J. L. Matson (Ed.), *Assessment and diagnosis in autism* (pp. 309–345). Springer.
・Doi, H., Nakamura, Y., Nakai, A., Kanai, C., & Ohta, H. (2026). Comparison of cognitive ability and its distribution between men with autism spectrum disorder and attention-deficit/hyperactivity disorder. *PLOS ONE, 21*(3), e0345522.
・Kanai, C., & Doi, H. (2025). A preliminary study on recollected number of friends and bully-victimization experience in people with autism spectrum disorder and attention-deficit/hyperactivity disorder. *International Journal of Child Development and Mental Health, 13*(2), 11–20.